

松前町の教育状況



松前町教頭会

松前町教育の三本柱

*学 力 向 上

*書 道 教 育

*ふるさと学 習

教育指針条例の制定(平成20年7月)

小中一貫型小学校・中学校

通称 『松前学園』

- * 学園長を定める
- * 学校運営協議会
を合同で開催



小中一貫型小学校・中学校

松前学園の教育目標

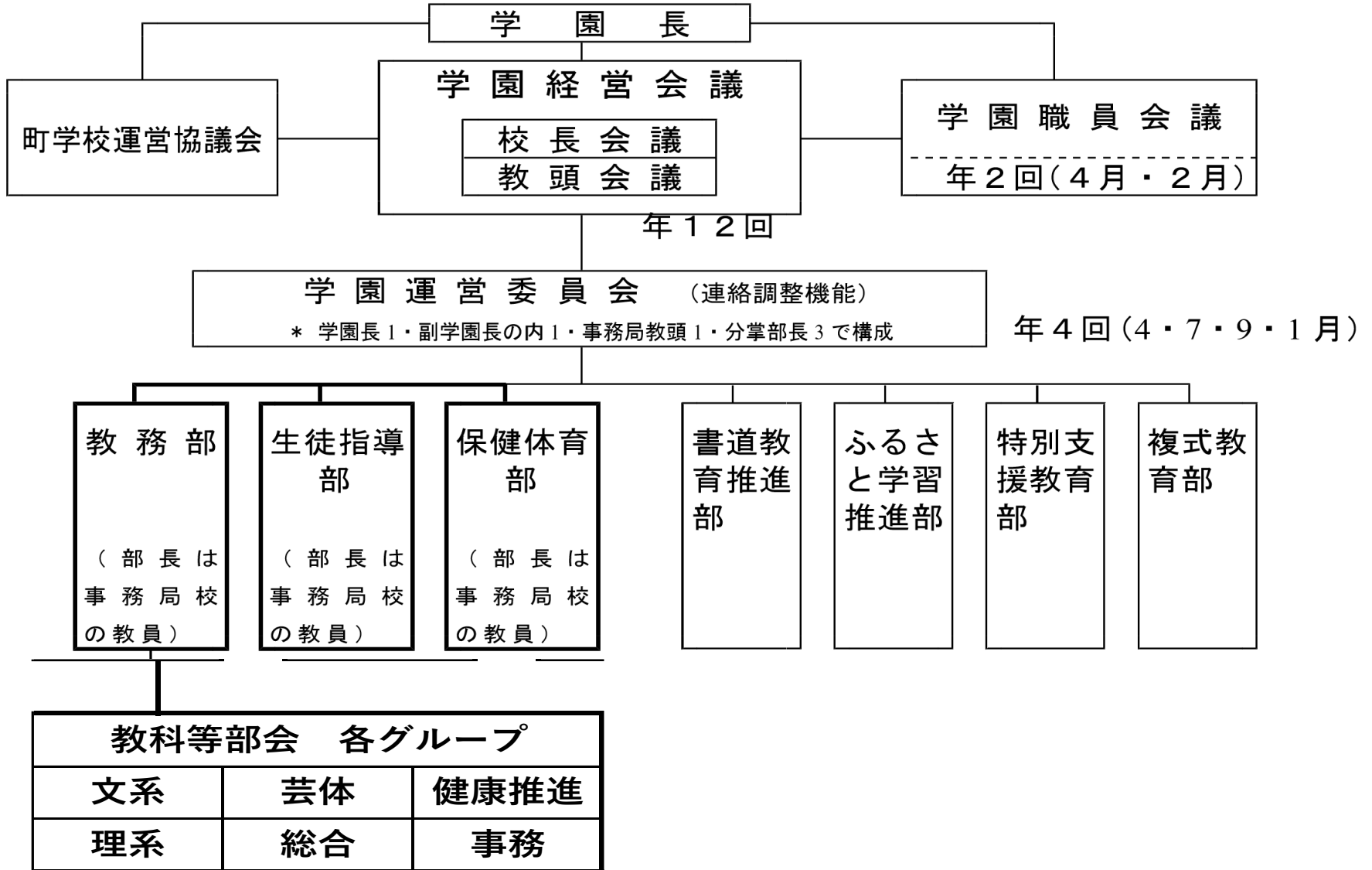
* 松前愛 挑戦 感動

- * 郷土松前に誇りを持ち、松前を愛する子
- * 無限の可能性に向かい、主体的に挑戦する子
- * 健康な生活に向かい、主体的に挑戦する子
- * 他を思い共に歩み、豊かに感動する子

組織図

(通称) 松前学園

☆ 学園長1名、副学園長3名



【推進の基盤】

教職員の学習指導観・生徒指導観の一致

無限の可能性に向かい、主体的に挑戦する子

柱1 学力向上

◎ 「そろえる」 「徹底する」授業

- ・ めあて、ふりかえりの設定
- ・ 共通した学習規律
- ・ ターゲットR4
- ・ 学習習慣の定着
- ・ 小中乗り入れ授業の工夫他



GIGAスクール 構想の推進



日常的なICT機器の活用

松前町「学力向上」

2022

松前っ子

3リズム

こどもの「規則正しい生活リズム」は

家庭・学校・地域から

「松前っ子3リズム」運動は14年目をむかえました。松前の子どもの生活リズム改善に向けて今年も家庭・学校・地域の皆様方のご協力をお願いいたします。

1リズム

早ね、早おき、朝ごはん運動の推進。
1時間目の授業が始まる2時間前、朝6時30分起床を目指しましょう。朝ごはん摂取率は8~10時間を取りましょう。



2リズム

「ノーゲームデー」などへの取り組み。
テレビ、ゲーム、携帯、インターネット使用の「家族ルール」を作りましょう。上関時間は、各学校の時間を守りましょう。



3リズム

学習ガイドとシートを活用した「家庭学習」へのチャレンジ。
家庭での学習を全くしない児童生徒をゼロにしましょう。授業以外の学習の目安時間を確保しましょう。



共同推進団体

松前町校長会・松前町教頭会・松前町PTA連合会・松前町青少年健全育成協議会・松前町町内会連合会・松前学園・松前町学校保健会・松前町養護教員会・松前町・松前町教育委員会

発行 松前町教育委員会

TEL 0193-42-3060

松前学園 学力向上・体力向上アクションプラン第4ステージ

ターゲットR4

【松前学園 教務部】

めざす児童生徒像

- 郷土松前に誇りを持ち、松前を愛する子
- 無限の可能性に向い、主体的に挑戦する子
- 健康な生活に向い、主体的に挑戦する子
- 他を思い共に歩み、豊かに感動する子

観光教育と伝統芸能教育を2つの柱にふるさと教育・生涯教育の充実を図る
想いを持ち、解決を図ろうとする授業により、学ぶ喜びを体得させる
自分の体を守り、健康でいることの喜びを知り、よりよい健康生活の選択させる
もの・こと・ひとを感じ、それを大切にしようとする行動をとらせる

全国学力学習状況調査・全国体力運動能力運動習慣等調査 全国平均以上

生活習慣改善

- 「早ね・早起き・朝ごはん」
- ◎6時30分起床 90%以上
- ◎朝ごはん摂取率 100%
- 「ノーテレビ・ノーゲーム」
- ◎TV+ゲーム 1日平均90分以内
- ◎家庭内のルール作り 100%

学力向上

- 「ベネッセ総合学力調査」◎全国比95%以上
- ◎出席率前年度を下回る
- 学習習慣確立
- 「家庭学習」 ◎めやす時間達成 90%以上
- ◎学習時間0分が0人
- ◎1週間で家庭学習0分が0人

運動習慣確立

- 「家庭・学校」
- ◎体育(運動)が好き 90%以上
- ◎1週間で、外遊び・運動・部活動の時間0分が0人(休み時間や放課後も含む)

第4ステージ (令和2年度～4年度)

積み上げ

学力向上

- ◎授業力向上 (校内研修・校外研修・授業交流)
- ◎学級経営力向上 (学習・教室環境、言語活動)
- ◎小中一貫の取組の徹底 (乗り入れ授業、学習規律)
- ◎補充学習 (日常・放課後・休業中、チャレンジテスト)
- ◎読書習慣 (1週間で家庭学習0分が0人)
- ◎家庭学習実態調査
- ◎家庭学習の改善 (強調週間)
- ◎漢検・英検の活用
- ◎数検の活用

運動習慣確立

- ◎新体力テストの実施
- ◎体育の授業改善
- ◎運動習慣1週間で、外遊び・運動・部活動の時間0分が0人(休み時間や放課後も含む)
- ◎体力向上への日常的な取組
- ◎運動環境の充実
- ◎チェックシートの活用
- ◎啓発活動 (通信や懇談会)

生活習慣改善

- ◎松前っ子3リズムの推進
- ◎早寝、早起き、朝ごはん運動の推進
- ◎ノーゲームデーなどへの取組
- ◎学習ガイドとシートを活用した家庭学習へのチャレンジ
- ◎生活リズムチェックシートの活用
- ◎生活習慣アンケートの活用 (毎年実施・検証)
- ◎食育の充実

第4ステージ (積み上げる3年間) (令和2年度～4年度) …ターゲットR4

○授業の質的向上(新学習指導要領に合わせて) ○松前っ子3リズムの推進 ○学力の着実な向上 ○運動に親しむ児童・生徒の増加

第1～第3ステージ (基礎・前進・定着) (平成21年度～31年度) …ターゲット26、29、29+2

○家庭学習はおおねね定着○学習支援の場と機会の確保○チャレンジカードの活用

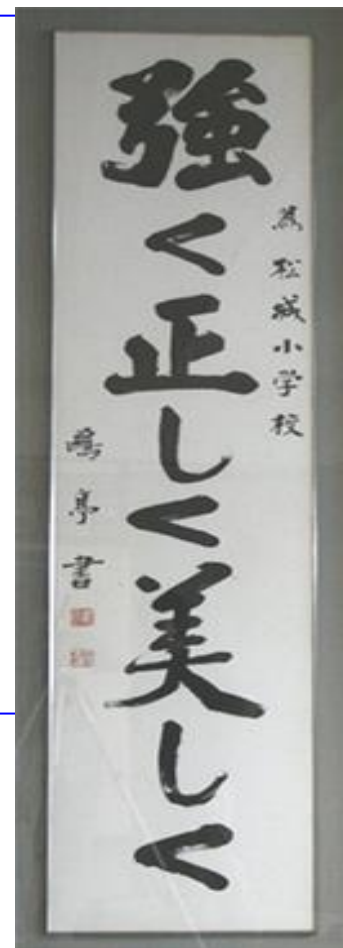
○授業の質的向上○学習規律統一による小中連携○学力の着実な向上

郷土松前に誇りを持ち、松前を愛する子

柱2 書道教育



- 「書道科」充実による書の日常化
- 書家 金子鷗亭氏に触れる
- 地域人材書道アドバイザーの活用
- 松前高校との連携





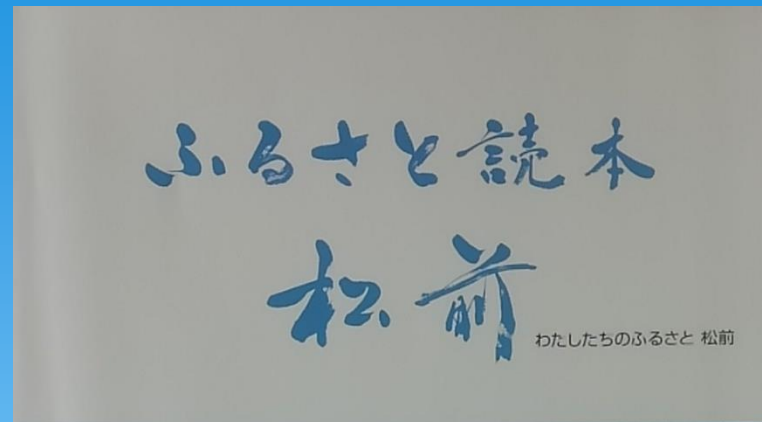
書道アドバイザーの活用

中学校書道科の授業

- 教育課程特例校制度を活用
- 全国で数少ない中学校書道科
- 小、中、高一貫した書道教育



柱3 ふるさと学習



感染症禍でも多彩な実績

- ・ 縄文遺跡発掘
- ・ 風力発電見学
- ・ ウニ採り体験
- ・ 松前神楽体験
- ・ 伊能忠敬像見学
- ・ 移動作品展
- ・ 昔の道具調べ
- ・ 昔の遊び体験



松前神楽



縄文遺跡 発掘体験



松前町立大島小学校

校長 神 龍治 教頭 松本 秀昭

明治12年開校

児童数 21名

(1・2年、3・4年、5・6年、特別支援の4学級)



松前町立小島小学校

校長 長縄 達幸 教頭 半田 仁

明治14年開校

児童数 18名

(1・2年、3・4年、5・6年の3学級)



松前町立松城小学校

校長 岩井 栄一 教頭 奥津 欣弥

明治8年開校

児童数 101名

(1～6年6学級、特別支援2学級の8学級)



松前町立松前中学校

校長 蛸子 友正 教頭 山岸 申弥

昭和22年開校

生徒数 81名

(1～3年各1学級 特別支援3学級 計6学級)



松前町教頭会における取組

<令和4年度の重点>

【視点2】組織の活性化を促す教頭のマネジメント

(1) 学校組織の活性化とデータの管理、保存の在り方
<学校組織の活性化の具体的な実践について>

【ICT活用について】

①教頭の声かけから始まる、担任間での実践交流、使い方の教え合い

【校務分掌】

①「任せ認める」ことによる創造的な取組

②教頭業務の見える化と校務運営の効率化と活性化

③行事等の反省と次年度の計画のリンク

【研修】

①ミドルリーダーを講師とした校内ミニ研修の実施

<データの管理、保存の在り方の具体的な実践について>

- ①校務用サーバー更新に伴う、不要なファイルの消去やフォルダの階層整理
- ②個人のUSB使用の禁止と学校用USBの準備
- ③共有フォルダとクラウドサービスの併用

(2) 働き方改革との関連性について

<働き方改革との関連に係わる具体的な実践について>

- ①タイムカードによる勤務管理と毎月の超勤時間伝達
(働き方改革の意識化)
- ②担任の余裕時間の創出(協働体制の構築)
- ③学校目標を意識することによる業務の焦点化
(チーム学校の創造)
- ④クラウドサービス活用の際の業者委託や町教委独自のICT研修会の実施

(3) 実践における成果について

<学校組織の活性化の具体的な実践について>

③行事等の反省と次年度の計画のリンク

⇒行事等は適時見直しを行い、「効率化」「目標の準拠」をキーワードにしながら業務を推進することができた。

<データの管理、保存の在り方の具体的な実践について>

③共有フォルダとクラウドサービスの併用

⇒「共有フォルダ」はWindows、「一人一台端末」はiPadであり互換性がないことが難点だが、その中で、本校の教職員はうまく使い分けている。メンター研修等で、互いの実践を交流し、ICTの活用スキルアップにつながっている。また、感染症等で長期欠席となった生徒への教材提供も、クラウドサービスを活用し容易に行うことができ、学習の保障にもつながっている。

<働き方改革との関連に係わる具体的な実践について>

④クラウドサービス活用の際の業者委託や町教委独自のICT研修会の実施

⇒行政の「働き方改革」への理解と教職員の積極的な業務改善によって、行政と学校との協働体制が構築された。

(4) 視点2に係わる具体的な課題と改善点について

【学校組織の活性化】

○ミドルリーダーの育成について

・ミドルリーダーが異動した後（ネクスト）を考えた校内人事を行うことが難しい。

⇒ 学校長の権限と教頭の具申をうまく組み合わせることを、これからも研究していきたい。

【データの管理、保存の在り方】

○データ管理や保存の在り方に関する共通化の指針

⇒ 人事異動などを考慮をすれば、市町村さらには渡島などで共通化を図っていくことは意義があることと思う。そのような面で、渡公教の共通取組シートのような取組はありがたい。

【働き方改革との関連性】

○業務の精選の中で、地域関連行事のスリム化を進めるにあたり、地域の理解を得ること

⇒ 地域の行事や集まりの中で、積極的に「働き方改革」について説明し、これからの学校と地域の関係について共通理解を図ることが重要。



第57回渡島公立学校教頭会研究大会
第2ブロック研究発表

北斗市教頭会における取組



令和4年11月26日(土)
北斗市立石別中学校
教頭 鳴海 清英





北斗市教頭会研究主題

子どもの学びを保障するための組織作りに係る教育環境整備と
組織の活性化を目指した教頭のマネジメント力の向上

【研究方法】

- 研究推進ロードマップに示された令和4年度の重点に基づき、教頭一人一人が自校の実態を踏まえ、学校で取り組み組むことを定め、実践と成果、課題を共通取組シートに蓄積する。
- 各校の実践を交流・協議し、成果・課題を共有する。





各校における取組交流から(1)

1. 学校組織の活性化とデータの管理、保存の在り方①

【学校組織の活性化の具体的な実践について】

- 方針や方向性の共有及び具体化
 - ・ 分掌業務の具体化、見通しをもたせる教頭の動き
- 校務分掌の再編
 - ・ ICT推進チームの組織化
- 校内委員会運営の工夫
 - ・ 主幹教諭・各分掌部長と連携した特別委員会
 - ・ 特別委員会の再編
- 職場環境・コミュニケーションへの配慮
 - ・ 職員との情報交換、面談の緊密化





各校における取組交流から(2)

1. 学校組織の活性化とデータの管理、保存の在り方②

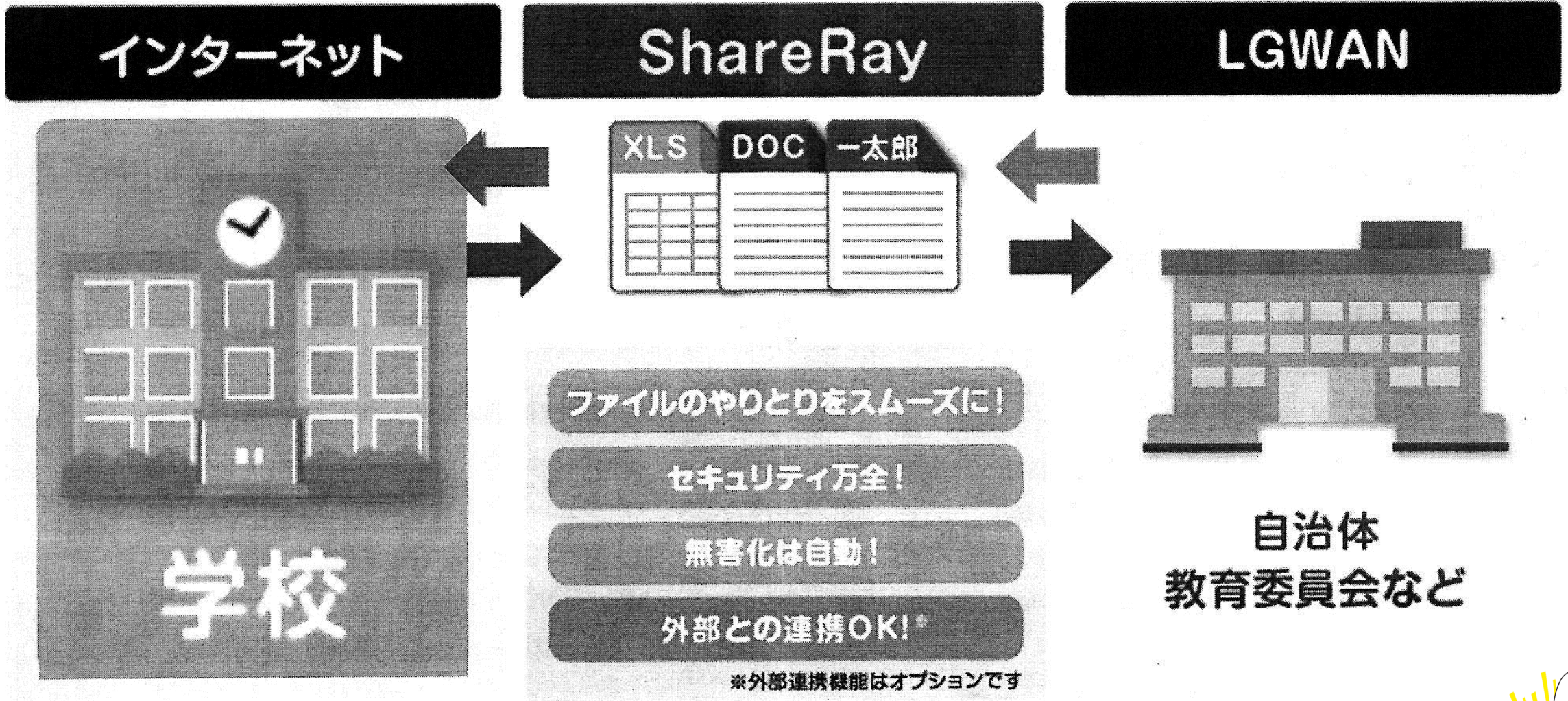
【データの管理、保存の在り方の具体的な実践について】

- 文書の共有化の工夫
 - ・ 職員共有のサーバーの整備と活用
- 文書のバックアップ
 - ・ 複数の担当者による危機管理体制の充実
- 校務支援システムの活用
 - ・ 効果的な活用による業務の効率化
 - ・ 生徒の個人情報情報の保護
- タブレット端末の活用
 - ・ 職員打合せ（朝）や健康観察の効率化





ファイル共有サービス「Share Ray (シェアレイ)」





Before

- 学校などの出先機関にファイルをインターネットメールで送る際、インターネットセグメントに一度移さなければならないのが大変!
- 調査ものなど、出先機関からの返信が必要で、さらに都道府県などへ返信しなければならないものはもっと大変
- 無害化に時間がかかる ● インターネットメールの誤送信が心配
- インターネットメールでの情報漏洩が心配
- 返信されてきたファイルの仕分けに時間がかかる
- 働き方改革で時間短縮したいけど、どこから手を付けていいかわからない



After

- 本来業務に時間がかけられるようになった!
- 自動的に無害化してくれるので、無害化を待たなくてよくなった
- 情報漏洩の心配が減った
- 働き方改革につながった



ShareRAYを導入する3つのメリット

1
安全かつスピーディーにファイルを出先機関へ送信・共有することができます!
本庁から出先機関にファイルを受け渡したいときは、LGWAN環境からブラウザ経由でファイルを共有するだけ。作業時間の短縮、業務の効率化を図ることができます。

2
確実なファイルの受け渡しが可能に!
メール誤送信によるインシデント発生を未然に防ぎます。また、送信したファイルの、未読・既読状況が確認可能。受信者側の確認漏れを防ぎ、より確実に調査物等を回収することができます。

3
万全のセキュリティ対策
出先機関(インターネット側)から共有されたファイルは、自動的に、強硬化の仕様に準拠したファイル無害化(サニタイズ)を行います。また、サービスに接続できる環境を限定することで、より高いセキュリティをご提供します。
*別途設定IPアドレスの取得をお願いしています。





「北斗市授業改善クラウド」 (NTT フレッツあずけ～る)

北斗市教育委員会の協力のもと、NTT東日本が提供するオンラインストレージサービス「フレッツ・あずけ～る」を利用してインターネット上でデータを保管するもの（令和2年度末から試験的に運用）

目的 → ○ 市内各校の実践を共有し、自校の指導に生かす
○ 小小連携や小中連携に関わる資料等のやりとり

例) ・ プログラム学習の資料
・ 各校の学校通信、行事予定（年間及び各月）
・ 各校の研究紀要
・ 北斗市教育研究所の資料





2. 働き方改革との関連性について

【働き方改革との関連に係る具体的な実践について】

- ICTの活用
 - ・ 共有サーバーの効率的な活用
 - ・ ICT推進チーム
- 校内体制の工夫
 - ・ 加配教員、専科指導、教科担任制、交換授業の導入
 - ・ 学校評価業務の推進体制及び方法の工夫
- 日常的な取組
 - ・ 評価と更新を経た教育活動の厳選
 - ・ 客観的な出退勤の記録化と定時退勤日の設定





各校における取組交流から(4)

【視点2に係る具体的な課題について】

- 教職員に関わって
 - ・ 世代や教職経験などに応じた職員意識の束ね方
 - ・ 学校全体の取組や協働活動に消極的な教職員の取込方
- 学校運営
 - ・ 校長の意や経営方針の解釈の仕方と学校運営への体現
 - ・ 計画や提案への緻密さの確保
 - ・ 個人情報保護や情報モラル、セキュリティへの対応
 - ・ 組織的な「学びの保障」の取組の一層の推進
- 連携
 - ・ 学びの保障と地域・保護者との連携バランス





各校における取組交流から(4)

【視点2に係る具体的な改善点について①】

- 教職員に関わって
 - ・ 職員個々の強みや長所を具体的に認めて、学校変革意識をつぶさにくみ取る力が必要になること
 - ・ 日常的なコミュニケーションを基本とし、教職員それぞれの取組の成果を見える化するなどして共有し、組織の所属感、有用感を実感できる場面を増やしていくこと





各校における取組交流から(4)

【視点2に係る具体的な改善点について②】

- 学校運営
 - ・ 学校の課題に正対する学校運営としてショートスパンで検証することによって、拡大解釈による業務の非効率化を防ぐこと
 - ・ 教頭が中心となって課題を整理し、全体運営委員会等の場面で協議や周知等をしっかりと行うこと。
 - ・ 職員会議や研修の場で、教頭自らもタブレット端末で教職員に課題を出し提出を求めるなどの取組を行う。活用しながらセキュリティ上の課題把握等を積極的・先行的に試みること。
 - ・ 教員のICTに係るスキルや活用意識の差を解消するための効果的な取組を進めること。





各校における取組交流から(4)

【視点2に係る具体的な改善点について③】

○ 連携

- ・ コロナ禍で培った学校行事の実施方法等を生かし、早期からの計画的な業務や勤務割振り、学校運営協議会を活用した地域参画型の教育活動を推進することで、現在の教職員のワークスタイルを維持すること

課題改善に向けた方策や取組、成果や課題の共有化

教頭のマネジメント力向上

～ 御清聴ありがとうございました。～



組織の活性化を促す 教頭のマネジメント

令和4年11月26日

長万部町立長万部中学校

教頭 猪狩武彦

①学校組織の活性化とデータの管理、保存の在り方

学校組織の活性化と具体的な実践 について

ミドルリーダーを軸とした教育活動の活性化①

業務改善に対する意識付け

- ・ 取組が目的からずれないように方向付けをする。
- ・ 取組の成果に対して認め、価値付けをする。

⇒ミドルリーダーの学校経営参画意識の醸成



長万部町立長万部中学校

ミドルリーダーを軸とした教育活動の活性化②

OJT機能を活かした校内研修

- ・主体的に学校課題を解決していく力を育成する。
- ・組織的に学校課題に対応する力を育成する。

⇒ミドルリーダーの資質能力の向上



長万部町立長万部中学校

①学校組織の活性化とデータの管理、保存の在り方

データの管理、保存の在り方の具体的な実践について

情報管理委員会を核とした環境整備①

(1) 職員室共有フォルダの設置

- ①情報の一元化により、効率性の向上
- ②情報の共有化により、利便性の向上
- ③情報の再利用により、省力化と正確性の向上



(2) 個人情報に関わる管理規定の設定

- ①個人情報の持ち出し禁止の徹底により、セキュリティの向上

情報管理委員会を核とした環境整備②

長万部中学校「chromebook 」のルール よい

7. 個人情報など

- ・マイクラウドに保存するデータは、原則学校で作ったデータのみとし、家庭で作ったデータやインターネットから取り込んだデータ（写真や動画など）は担任または教科担任の許可を得ること。

8. データの保存

- (1) 自分のchromebookや認証カードを他人に貸したり、使わせたりしないこと
- (2) 他人のアカウントを使ってログインすることは絶対にしないこと。
※ 自分のアカウント以外は使用しない
- (3) 自分や他人の個人情報（名前や住所、電話番号など）はインターネット上に絶対にあげないこと。



校務の効率化

(1) 職員室共有フォルダの分類および整理

①情報の閲覧・活用を簡略化

(2) 教頭フォルダの分類および整理

①業務のスムーズな引き継ぎ

(3) 諸会議のペーパーレス化

②働き方改革との関連性について

働き方改革との関連に係る具体的な実践について

プロジェクトチームが機能する働き方改革①

(1) 業務の見直し

- ①業務全般の見直し
- ②諸経費の口座振替

(2) 校内研修の充実

- ①働き方改革の継続・発展
- ②働き方改革の目的の見直し

プロジェクトチームが機能する働き方改革②

令和4年度 活動計画

4月	委員会 発足
5月	働き方改革に関するアンケートの実施
6月	アンケート結果を受けて方策の検討
7月	職員会議での周知
7～10月	対策の実施
10月	ワークショップ型校内研修（成果と課題）
11～1月	対策の継続
1・2月	新年度準備委員会への検討事項を模索・提案

校務の効率化

(1) chromebookデータの共有化

①クラウド環境の整備により、ICT活用のアイデアを共有

②フォルダの構成

☆職員会議資料・000管理職・100教務・200生徒指導・
300事務・400学年・500PTA関連・600特別委員会・
700写真・800親睦会・900過年度

振り返りと今後に向けて

**研究主題に迫る教頭の関わりとして
意識していきたいこと**

- 教員のアイデアを引き出し活かしていくことで、新たな取組を発見し、その実現に向けて指導・助言していく
- 教員の組織的取組を価値付けして、計画の調整や関係機関との連携を図っていく
- 業務全体を見通して、特に新たな業務が教員の負担となり過ぎないように配慮する
- 校務の効率化に向けて、既存のWindowsデータのほか、新たなchromebookデータを分類・整理し、適切に管理する
- 町教委と連携しながらICT環境の更なる整備を推進する